

令和6年

第1回岩沼市教育委員会（定例会）

会議録

1. 招集日時 令和6年1月25日（木）午後1時30分
2. 招集場所 岩沼市役所 6階 研修室A
3. 出席委員 及川浩市・佐藤雅晴・小林修子・木村紀子
4. 欠席委員 南館公雄
5. 説明のために出席した者

教育次長兼市民図書館長事務取扱	大友 康弘
参事兼学校教育課長	池田 尚人
生涯学習課長兼市民会館長兼中央公民館長	渡辺 里美
6. 傍聴者 なし
7. 本委員会の書記

学校教育課課長補佐兼教育総務係長	山下 真理子
学校教育課主事	庄司 早紀
8. 開会 午後1時25分
9. 閉会 午後3時00分
10. 会議録署名委員
木村紀子・及川浩市
11. 会議録の承認
承認（令和5年11月2日定例会）
承認（令和5年12月1日定例会）

佐藤職務代理者

令和6年第1回岩沼市教育委員会定例会を開会いたします。

2番目の会議録の承認でございます。令和5年11月2日第11回定例会、12月1日第12回定例会の会議録について、訂正箇所等がありましたらお願いします。

各委員

訂正はありません。

佐藤職務代理者

それでは、会議録をこのとおり保管させていただきます。

3番目の会議録署名委員の指名ですが、今回は、木村委員さんと及川教育長さんをお願いします。

4番目の教育長報告をお願いします。

及川教育長

12月1日、総合教育会議を行いました。御出席ありがとうございました。

12月3日、いわぬまスポーツフェスティバルを開催しました。エアポートマラソンに変わり、今年度より開催したもので、300人余りの皆様に御参加いただきました。午後には、元バレーボール選手の佐藤あり紗さんに実技指導いただくなどして、にぎやかなフェスティバルになりました。

12月5日、第2回市内教職員研修会を開催しました。働き方改革、これからの授業のあり方・授業改善について確認しました。

12月9日、プレゼンコンクール全国大会が開催されました。岩沼市からは岩沼小学校3年生男子と、岩沼北中学校3年生女子が参加しました。小学生は奨励賞を、中学生は最優秀賞をいただいて参りました。

12月26日、当初は夏に計画していましたが猛暑のためにできないでおりました転入職員研修会を行いました。生涯学習課職員の案内で、竹駒神社、千年希望の丘等を見学して参りました。

1月7日、二十歳を祝う会を開催いたしました。御出席ありがとうございました。

1月16日、学校給食運営協議会を開催しました。学校給食費の値上げについて諮問を行いましたところ、現在の給食費から40円値上げし、小学校350円、中学校390円とする事の答申をいただきました。

1月19日、岩沼市のICT活用による働き方改革・校務のDX化が認められ、日本ICT教育アワードにおいて総務大臣賞を受賞いたしました。賞状とトロフィをいただくとともに、成果の発表を行って参りました。

大友教育次長兼市民図書館長事務取扱

3点御報告いたします。

1点目になります。先日の総合教育会議の中で、この定例会の会議録を公表した方が良いのではないかと御意見をいただいております。令和6年1月から会議録をホームページに載せていきたいと考えております。よろしくお願いいたします。

2点目になります。令和6年第1回臨時会が1月12日金曜日に開会されました。ここで議会の構成が決定されております。お手元の資料のとおり、議長が酒井信幸議員、副議長が長田忠広議員、監査委員が佐藤一郎議員になりました。教育民生の常任委員会のメンバーといたしましては、大村晃一議員が委員長、岡田みつえ議員が副委員長、長田忠広議員、櫻井隆議員、西塚秀市議員の5名で当初予算などの委員会審議をいただくこととなります。

3点目です。令和6年第2回議会定例会が予定されており、2月13日開会、3月5日閉会で準備が進められております。この中で、先ほどの教育民生常任委員会により2月26日と29日に審議いただく予定です。学校給食費の見直し、小学校が300円から340円、中学校が350円から390円の給食費の値上げといった形で調整を進めておりますが、国の物価高騰対策関係の臨時交付金を使える見込みになりましたので、市長部局に40円の補助を継続することをお願いし、先日の査定通知の中で御了承いただいたところですので、議会にかけたいと思っております。実質、令和6年度の保護者負担は今年度と同じ形になる予定です。

教育委員会から議会に出す市政報告でといたしましては、日本ICT教育アワードの総務大臣賞受賞の件、学校給食費の見直しの件、本日の議案となっております市民体育センター廃止の件、こちらも本日の議題である、生涯学習基本構想と第四次生涯学習推進計画の報告、二十歳を祝う会の報告を予定しています。

池田参事兼学校教育課長

学校教育課から2点御報告いたします。

1点目、日本ICT教育アワード「総務大臣賞受賞」についてです。130の自治体の首長で構成される全国ICT教育首長協議会主催の「第6回日本ICT教育アワード」において、先進的なICT教育を実践している自治体として岩沼市が「総務大臣賞」を受賞しました。これまでの市内小中学校における先進的なICT機器の活用や教職員の業務のデジタル化による働き方改革などが評価されたものです。今後とも子供たちの豊かな学びと教員の業務改善につながるよう取り組んでまいります。

2点目、12月9日土曜日にパナソニック教育財団主催のプレゼンテーションコンクール2023が開催され、最終選考で、岩沼北中学校3年 佐々木莉暖さんが最優秀賞、岩沼小学校3年 櫻井稟太郎さんが奨励賞をそれぞれ受賞しました。日頃の学びの成果を存分に発揮し、タブレットを効果的に活用して思いを分かりやすく伝え、聞き手の心を動かしたことが高く評価されました。岩沼からは9月13日の市小中学生プレゼンテーションコンクールのステージ発表者13名のうち7名が全国大会に応募し、最終選考に2名が選出されたものです。

渡辺生涯学習課長兼市民会館長兼中央公民館長

生涯学習課から4点、御報告いたします。

1点目、令和6年岩沼市二十歳を祝う会についてです。成人年齢の引き下げにより、昨年、成人式から名称を変更した二十歳を祝う会を、1月7日日曜日、市民会館を会場に開催いたしました。年度内に二十歳を迎える369名が参加し、晴れやかに門出を祝いました。教育委員の皆様におかれましては、お忙しい中、御出席いただきましてありがとうございます。なお、年度内に二十歳を迎える方の総数484名（11月30日現在、男236名、女248名）に対して、369名（男192名、女177名）の出席でしたので、参加率は76.2%（R5：77.1%）となりました。

2点目、第8回松尾芭蕉「奥の細道」いわぬま二木の松俳句大会について申し上げます。岩沼に愛着を持つ人材育成事業として、平成28年度から始まった事業で、今回で8回目となります。今年度は、小学5、6年生及び中学1、2年生を対象として、「岩沼の歴史と文化、自然をたどる観光地」として、「二木の松」「竹駒神社」「金蛇水神社」「貞山堀」「阿武隈川」を題材とし、夏の季語を用いた俳句大会を実施したところ、約1,600点の応募がございました。

審査は、市民活動サークル「つめくさ俳句会」の先生に御協力をいただき、2月1日に行う予定となりまして、作品展示は、市民図書館2階の展示スペース「まちかどギャラリー」に、審査翌

日 2 月 2 日金曜日から 2 月 29 日木曜日まで掲示する予定です。お時間のある時、ぜひ御覧いただきたいと思ひます。

3 点目は、岩沼市史講演会「岩沼の遺跡～原遺跡を中心に」の御案内となります。編纂事業が完了となった「岩沼市史」を活用する取組みとして、2 月 3 日土曜日午後 1 時から、市民図書館セミナールームを会場に、講師に市史編集専門部会考古部会会長を務めた白鳥良一先生をお招きし、開催いたします。60 名定員となり、明日 26 日まで申込受付をしています。官城県内で数多くの遺跡調査を手掛けてきた白鳥先生からみた岩沼に所在する遺跡の特徴と、近年注目を集めている原遺跡の歴史的価値をテーマにした講演会となります。

4 点目は、市民会館・中央公民館の北側・東側駐車場の利用方法に関する説明会についてです。長年、会館駐車場の管理において、不法駐車や放置車両等が懸案事項となっておりましたが、4 月から、民間事業者の専門的な技術や手法等を活用したゲート式駐車場を導入し、有料化することとなりました。この度、駐車場の管理運営事業候補者が決定しましたので、利用方法に関する説明会を、2 月 7 日水曜日 14 時から市民会館中ホールにて開催する運びとなりましたので、お知らせいたします。

駐車場は、市が事業者に貸付する形での公募型プロポーザル形式で募集されました。駐車料金は入庫から 30 分無料となり、北側・東側駐車場を利用していた市民会館・中央公民館、総合体育館、陸上競技場、多目的グラウンド、総合福祉センターの施設利用者については、①施設使用料を支払って施設利用する者、②会議やイベント等の主催者、③市主催の会議、イベント等の参加者は、追加で減免処理を行う予定です。利用方法については、2 月 7 日の説明会や今後チラシや動画等で御紹介できると思ひますので、少々準備が整うまでお待ち願ひます。

佐藤職務代理者

教育長さん方からいただいた報告に関し、委員の皆さんから質問等ございましたらいただきたいと思います。小林委員さんいかががですか。

小林委員

大変嬉しいニュースが続き、地域として ICT 教育の評価を受けたことは素晴らしいと思ひます。

原遺跡の事は、私ももっと外部の方々知ってもらった方が良く思ひていました。市内外に向けて、知る機会を設けてほしいと思ひておりましたので素晴らしいと思ひます。やっぱりやってくれたという感じで、とても嬉しく聞かせていただきました。

ひとつ質問なのですが、給食費は値上げするけれども、補助があるので保護者負担は増えないと受け取って良いのでしょうか。

大友教育次長兼市民図書館長事務取扱

保護者負担額は今までと同じということになります。給食費は 1 人 1 食あたり、小学生 300 円中学生 350 円という設定でした。令和 5 年度までは、それを値上げせずに 40 円の補助を上乗せする形でやってきました。物価高騰は落ち着いてきた様子もあるのですが、今後下がることはないという判断させていただいて、設定単価を上げたうえで、上がったレベルについて交付金で対応するというようにしております。臨時交付金を物価高騰対策としていただける間は、給食費の補助を継続することをお願いしたいと考えております。栄養士さん方からは、自校給食の良さを生かした給食を、工夫しながら 340 円で提供することはできているという話もありましたので、この金額で抑えさせていただきたいと考えています。

小林委員

そのうち、国から全額補助になると良いですね。

佐藤職務代理者

確認なのですが、保護者が負担している給食費は食材費のみの金額なのでしょうか。

大友教育次長兼市民図書館長事務取扱

給食の食材費のみの金額で、全体で年間2億数千万円になります。人件費や光熱水費、備品費なども年間2億円程度かかりますが、そちらは税金で対応しております。

佐藤職務代理者

子育て支援の関係で、給食費が無料になるという動きは今どうなのでしょうか。

大友教育次長兼市民図書館長事務取扱

以前の子ども医療費の様に、いくつかの自治体で補填する動きがあることは聞いています。

佐藤職務代理者

仙台教育事務所管内ではいかがですか。

大友教育次長兼市民図書館長事務取扱

名取市は中学3年生が無償化、富谷市が完全無償化しています。

佐藤職務代理者

次年度から山元町が給食費無償化すると新聞に掲載されておりました。町民との約束だからやらざるを得ない訳です。近隣市町村の動向を教育委員会として頭に入れておく必要があるように思います。

大友教育次長兼市民図書館長事務取扱

資料としてまとめておりました。今までも議会等でお話をいただいておりますが、給食費は年間で2億円を必要としますので、市民一人当たり毎年5,000円をずっと負担していただくこととなります。児童生徒の保護者ではない方々に負担していただくことは難しいと考えていることから、給食費は保護者負担という原則を崩さない形でおります。実施するのであれば、義務教育として国が対応すべきであるとの考えでおります。

佐藤職務代理者

社会を背負っていく子ども達をみんなで育てようという動きもあって、まちづくりの方針として、人的資源である子ども達の保護者に対して、みんなで協力するべきという考え方もあります。

大友教育次長兼市民図書館長事務取扱

岩沼市としては、そのような考え方に立っておりません。今は、経済的支援として給食費の補助をしている形です。

佐藤職務代理者

最も力を入れなければならないのがその部分かと思います。4万5000人に人口を増やそうとするなら、やはり若年層をまちに呼び込むに、まちづくりの基本構想として、子ども達に着目する必要があるように思います。

大友教育次長兼市民図書館長事務取扱

給付をすることで岩沼に呼び込むのではなく、市の環境を整備することで、子育てに対しても、しっかり負担をされる方に入ってもらえればという考え方でおります。

佐藤職務代理者

個々人がそこではどういうメリットがあるのか、確かめる中から選ぶ時代になっていると思われます。

木村委員さんいかがでございますでしょうか。

木村委員

3点あります。

1つ目は、定例会でお話しした議事録をホームページに載せていただくことになりまして、ありがとうございます。教育委員とは何をするのか分からないという人達からお問い合わせがあった時に、一つ一つ説明するよりもあそこに載っているよと話すとの確ですし、そのままの内容で忠実に示せるので、私としてはすごく助かります。私の言葉ではニュアンスで異なって伝わってしまって、誤解が生まれてしまうことがあると思われまます。そういう意味で、会議録が載っているのは嬉しいと思いました。それと同時に、発言に気をつけないと、というのはすごく思いました。

2つ目は、前回お話がありました子ども 110 番の家の件で、たまたま年末年始にいろんな御家庭が集まって話す機会がありまして、すごくいいなと思ったことがありました。小学 2 年生と中学 1 年生の 5 人のお子さん達と話したところ、下のお子さんは 110 番の家があることは分かっているけれど、その意味が紐付いてないということが分かりました。子ども達は「不審者がいたら走って逃げる」「蹴ってやる」と勇ましいことを言っていたり、「無理だよ、捕まるよ」「亀の子のようになってる」と色々話していたのですが、お姉ちゃん達が下の子達に「大事なのは自分で自分の身を守ることだから、日頃から逃げることを意識しながら通ることだね」って話していたのが良かったなと思いました。110 番の家があるということとその意味が紐付いてないと認識した上で、お家で話す機会も設けることができ、私としては嬉しいなと思いました。

3つ目は、池田課長さんがおっしゃった 1 月 19 日の日本 ICT 教育アワードの件で、岩沼の豊かな学びを表彰されたとのことですが、詳細に教えてほしいと思います。

池田参事兼学校教育課長

御質問いただいた子ども達の豊かな学びの部分ですけども、こちらについては以前もお話ししたことがあるかと思いますが、今学校では教員が一斉授業での教授の方法から個別最適化の授業というところで、全国的に日本の教育は置き換わってきているところです。その中で岩沼では ICT を使って一人一人が学び方、調べ方などを考えながらやっていく方向に舵を切っているところです。特に先進的に行っているのが岩沼北中学校と岩沼小学校になります。ICT については、北中では AI のパイロット校として、全国 20 校の中で選ばれています。全国の中でも北中の AI については、非常に先進的に取り組んでいると評価されています。まだ文部科学省の指定を受けて半年ですが、他の地区で指定を受けているところでは生成 AI をどう使っているか分かっていないところですけども、岩沼では積極的に様々な評価やアンケート集計に使われているので、今後期待ができるものだと思います。ただ、生成 AI は年齢制限等もありますので、子ども達や保護者に確認して行っているところでした。そういった機器や ICT を使いながら、子ども達の豊かな学びに繋げていきたいと考えています。

木村委員

一人一人に合わせて、というのはすごく良いと思います。ただ、基礎的なものを反復継続するのも大事だと思います。一人一人に合わせてというのは、小学校 1 年生から中学校 3 年生までの全部の学年を対象にするよりも、私としては中学生以降であるとか、早くても小学校高学年でしたら、

自分に向いている、向いてないというのが出てくるので、ウェイトを大きくしても良いと思うのですが、本を読むことすらままならない小学校低学年のうちから一人一人に合わせて、とすることに少し心配しています。

池田参事兼学校教育課長

説明が足りませんでした。今おっしゃったとおり、小学校低学年、特に1、2年生については、当然、急にこれを使って調べなさいと言ってもできませんので、これまでどおり一斉授業の形で、反復して基礎を養い、また、機器の使い方を覚えていく時期だと思います。3、4年生ぐらいになると、その割合が半々になってきます。高学年の5、6年生では、なるべく自分たちでやっていきましょうという形に変わっていくので、全てがそこに置き換わるわけではありません。学習内容や評価の特性に合わせて、また、今までの良さも活かしながら取り組んでいきます。

木村委員

今の若い子は、まずやってみる、ということができなくて、反復継続する学習が少なくなってきました。まずは黙ってやる、やった上で新しい風を吹かすということが望ましいと思います。我慢できる子が少なくなってきたので、やはり小学校、中学校での学習の仕方やレクチャーの仕方も大事なのではないかと思ってお話をしました。いくらICTが進んだとしても大事な部分であると思うので、そこは時間を割いてほしいと思っております。

及川教育長

0か100かではありません。反復練習についても全てやるか、全てやらないかではなく、成長過程に応じて濃淡があるでしょうし、例えば10時間で学習する内容について、3時間は先生から、残りの7時間は子どもの思いや得意不得意に応じてコーチングしていく形もあると思います。今までのように、みんなが一緒のバスに乗ってゴールに辿り着く形ではなくて、それぞれが自分で運転手になって、それぞれの道を通ってゴールに辿り着きましょうねという形です。

ただ、時間のかかり具合は異なってくると思います。今までの横並びでみんな一緒にゴールしましょうというところから、得意な人は自分で先に進めていけるようにICTを使って自学ができるようになりますし、自分で進めることが難しい子には教員が手厚く入ることができることで、差が縮まることが期待できます。

これからの子ども達は、コンピューターに関わらない訳にはいかないと思います。今ある仕事が、未来にはコンピューターに変わると考えられる仕事も多く、教師は知識を教えるより学び方を指導することに力を入れていく必要があると思います。授業参観の際などで、保護者から普通の授業をしてほしいという声が聞かれるときがありますが、今後は個に応じた授業が重要になってくるといことを伝え、保護者の方々も意識改革していただきたいと思いますようお願いしていかなければと思います。

【小林委員退席】

池田参事兼学校教育課長

先日、北中で校長が子ども達に生成AIを使ってみてどうかと聞いてみたそうです。すると、先生は今まで苦手な子に手を掛けられなかったけど、生成AIを使うことでそちらに手を掛けられますよねと、中学生の方からそのような意見が出てきたそうで、子ども達の成長を見て取れました。

木村委員

国税庁でもチャットボットを使って申告に行く流れになっていますし、全てが変わってきている

感じですね。教育長がおっしゃったように、保護者も自分から授業の聞き方や情報の取り方を変えていく必要があると思います。

及川教育長

ぜひ広報活動をお願いします。

大友教育次長兼市民図書館長事務取扱

駐車場の件について補足させていただきます。陸上競技場西側と総合体育館の南側について、駐車場の有料化にあわせて閉じることにし、関係者のみの利用にすることを考えております。

渡辺生涯学習課長兼市民会館長兼中央公民館長

岩沼署管内には名取市も含まれるのですが、名取市の子ども 110 番の家のお宅が岩沼署で表彰されたことが記事で載っておりました。相互台小の子が不審者につけ回され、110 番の家のお宅に駆け込み、その家から学校で連絡、学校から警察に連絡したことで表彰されていました。記事には、同様な事は 4 年間で 3 件あったと書かれていまして、周知の必要性と子ども 110 番の家が役立っていると感じました。

木村委員

子ども達の発想では、いつも顔を見ていたおじさんおばさんだとしても良い人か悪い人か分からない、悪い人たちがオレオレ詐欺にグループで誘い込むように、この 110 番の家に悪いグループがいて、そこに吸い込ませるようにしてるんじゃないか、とゲームの世界と同じ感覚で言っています。110 番の家があるから大丈夫、ではなくて、あまり信用していない面があるようで、最後は自分の身は自分で守るしかない、常に意識して動かなきゃないとも話していて、子ども達の発想ってこうなんだと思いました。

佐藤職務代理者

子ども達は地域資源であるとして、地域社会で育てていくものです。子ども 110 番の家は安心できる家庭やお店を、委嘱する側がしっかりと調べてお願いすることが基本です。学校も地域も啓発活動の機会が少し後退している感じがします。110 番の家が地域資源として利用できるのか共通理解を図り、地域で子ども達を育てる気持ちを高めていくことが大事だと思います。学校も地域社会を通すことが必要で、そうしないと本当に地域で安心した生活ができなくなると思います。

5 番目の議事に入らせていただきます。ここからは教育長さんに進行をお願いします。

及川教育長

議案第 1 号 岩沼市民体育センター条例を廃止する条例について、議案第 2 号 岩沼市民体育センター管理規則を廃止する規則について、事務局から説明してください。

渡辺生涯学習課長兼市民会館長兼中央公民館長

議案第 1 号 岩沼市市民体育センター条例を廃止する条例、議案第 2 号 岩沼市民体育センター管理規則を廃止する規則について御説明申し上げます。

昭和 47 年 7 月開館の市民体育センターにつきましては、岩沼市公共施設等総合管理計画に基づいて、以前より総合体育館への統廃合の検討を進めておりました。昨年末までは、新型コロナウイルスワクチン接種会場として利用しておりましたが、築 50 年以上経過し、現在、雨漏りやカビ等の腐食が多く発生し、老朽化が著しいため、今後改修や修繕等はせず、解体に向けて 4 月からは閉鎖し、解体の設計等事務手続きを進める方針となりましたので、施設の条例及び規則を廃止することとなりました。

なお、この改正案は今後、条例等審議会や市長部局調整の間に文言等の修正の可能性がありますことをお含み置きますようお願いいたします。よろしく御審議賜りますようお願いいたします。

佐藤職務代理者

市民体育センターの廃止は決定したものののでしょうか。

大友教育次長兼市民図書館長事務取扱

執行部側には、予算要求の説明において認めていただきましたので、貸出は行わずに年度切り替えのタイミングで廃止する条例改正をしていく形になります。

佐藤職務代理者

これは、何かの都合で市民体育センターが復活するということはないのでしょうか。令和6年度予算について議会を通過した後にも使用する期間があると思われまますので。

大友教育次長兼市民図書館長事務取扱

解体してから廃止するのではなくて、廃止をした後に解体になります。体育施設としての位置づけをやめてからの解体です。

佐藤職務代理者

行政の一般的な流れなのでしょうか。

大友教育次長兼市民図書館長事務取扱

行政目的がなくなるのでこうする、ということが一般的です。今回の議会に、廃止条例と解体予算について同時に提出いたします。

渡辺生涯学習課長兼市民会館長兼中央公民館長

数日前に雨が降りましたが、あの雨でも雨漏りでバケツに水がいっぱい溜まっていて、貸し出しするには、かなりの改修をしないと難しい状態です。

佐藤職務代理者

本来は総合体育館ができたときに解体する予定だったけれども、今まで延命策を講じ、予算を投入して使用していて、いよいよ費用対効果からも市民へ還元にならないので解体するということですね。

及川教育長

新型コロナウイルスワクチン接種会場として使用している間に、市民体育センターで活動していた方々には新たな場所を見つけていただき、今は落ち着いて活動いただけている事も廃止のタイミングになります。

佐藤職務代理者

市民体育センターを利用していた方々は他地域の施設で活動するようになり、満足している状況なのでしょうか。

大友教育次長兼市民図書館長事務取扱

満足という個人差がありますが、畳を必要とする柔道は活動の都度、会場準備に時間がかかるようになった等の話もお聞きするので100%充分ではないと思われまますが、御協力いただいているところです。

木村委員

つまり、あるものを使うということですね。

大友教育次長兼市民図書館長事務取扱

基本的にその通りです。昨年度の市民満足度調査において、公共施設の利用状況についてのアンケートによると、月1回以上の利用者は18%しかおりませんでした。それも図書館の利用が多いとのことでした。約8割の利用していない方々の税金の投入をどこまでできるかという考え方に立っていかねばいけないというところです。

及川教育長

議案第1号 岩沼市民体育センター条例を廃止する条例について、議案第2号 岩沼市民体育センター管理規則を廃止する規則について、御承認いただいでよろしいでしょうか。

各委員

(了承)

及川教育長

ありがとうございました。

大友教育次長兼市民図書館長事務取扱

条例については、議会での議決をいただいで進める形になりますのでよろしくをお願いします。

佐藤職務代理者

それでは、6番の協議に移らせていただきます。令和6年度岩沼市教育目標等の作成につきまして、事務局より説明をお願いします。

大友教育次長兼市民図書館長事務取扱

令和6年度岩沼市教育目標等の作成につきまして、御意見をいただきたいと思っております。昨年度、岩沼市の教育等の振興に関する施策の大綱等を決定いたしまして、これに基づいて令和5年度岩沼市教育目標として固めて取り組んできているのがこちらにお示ししているものになります。令和6年度に向けて、どのような形にしたら良いかという御意見をいただければと思います。こちらは包括的なものになりますので、予算の状況を含めて御意見ををお願いします。いただいた御意見を踏まえて、次回の定例会にて改めて議案としてお示しできればと考えておりますので、よろしくをお願いいたします。

佐藤職務代理者

1頁目の「新型コロナウイルス感染症対策や自然災害等に対する危機管理及び防災教育」について、コロナの扱いが変わってきた感じがしますが、様々な感染症がある訳なので、新型コロナウイルスの後に「等」を入れ、それで「感染症対策や」に繋げることで、広く危機管理をするということになります。

それから、Ⅲのスポーツ振興について、部活動との関わりもあり、社会教育が担わなければならないスポーツ振興というのは、かなり変わるものだと思います。「スポーツ振興の充実」の下に、括弧書きにして、今生涯学習課で行っている事業をいくつか記載すると分かりやすいと思います。例えば、部活動の関係やスポーツ団体支援の事など、今やっていることを挙げられると良いと思います。

大友教育次長兼市民図書館長事務取扱

事業を箇条書きで入れさせていただきたいと思います。

佐藤職務代理者

問題は、スポーツ振興の充実という大きな項目と部活動支援事業を同列に置いていることで、部活動支援はスポーツ振興の一部であるものです。

部活動支援は、学校教育に対する生涯学習からのアプローチになっています。休日の部活動は、学校教育の一環としては行わないので、地域で受け皿を作る、ということは部活動支援と言えるのでしょうか。「部活動」という言葉によって少し混乱があるように思います。

及川教育長

平日の部活動と休日のクラブ活動という言葉、意識してきちんと使い分けておかないと誤解が生まれてしまうことがあります。

佐藤職務代理者

事故の問題が怖いと思います。部活動支援事業に参加しての事故について、学校で補償するのか疑問を持たれることがあるかと思われまます。

大友教育次長兼市民図書館長事務取扱

休日のスポーツ活動に参加するには、保険を掛けているので御理解いただいていると思います。

木村委員

Iの学校づくりの推進について、1(1)学力向上の着実な推進にある①から⑤の順番が、私としては⑤の内容が一番あってほしいと思いました。①には一番に伝えたいものを置きたいので、私は「全国学力・学習状況調査結果の分析・考察と改善方策の展開」、二番目に伝えたいことは「学習習慣の確立と定着を図る取組の推進」、三番目は「個に応じたきめ細やかな指導の充実」。これが先ほど池田課長さんの話にあった、全体の学習から個に応じる学習の流れだと思います。四番目が「理科教育の充実」、五番目に「校内研究や教職員研究の充実」ということで、今の状態では、先生ファーストの書き方に見受けられます。私としては、やはり基礎学力の向上ということで⑤に書かれていることをお願いしたいですし、それができてから、学習習慣をつけた上で個に応じた学習をして、それから、理科教育の充実を図りたいという気持ちもあります。子どもの教育と共に先生の方の充実も図ってほしいということで、先生ファーストの順番ではなく、子どもの学習が先の順番に変えてほしいと思います。

大友教育次長兼市民図書館長事務取扱

記載している事項に序列をつけている訳ではなかったのですが、確かに重点にしたいものを先に持ってくる見方をされる方がいることも事実ですので、順番の見直しを検討したいと思います。

佐藤職務代理者

順番は大切なことだと思います。今まで、後に出てきた課題を追加して並べていましたが、教育の各項目を満たすためには、木村委員さんがおっしゃったように順番の見直しが全部の項目で必要だと思います。事務局で検討してください。

及川教育長

全国学力・学習状況調査だけが指標ではないので、もっと広い見方で実態把握して授業改善に繋げていく必要があります。その辺りは時間を掛けて検討したいと思います。最終的には、自立した学びができ、卒業しても自分で課題を解決できるように自立した学びができる子ども達に育てたいという思いがあります。

岩沼はICT教育が進んでいると言われていますが、子ども自らがICTを活用できるように踏み込んでいきたいと思っています。

それから、Iの3にある「障害のある子ども」という言葉についても、単に障害がある子ども達だけではなく、様々な支援を必要としている子ども達のニーズに応えていこうということで、多様

性のある学びという言葉を入れていきたいと考えています。

部活動支援事業の充実についても、3年を掛けていかに完成させていくかという段階にきているので、別な言葉を探していきたいと思います。良い言葉があれば教えてください。

佐藤職務代理者

県の教育委員研修会で志教育の話がありました。その辺りも入ると良いように思います。

県の教育方針との整合性がないといけないと思いますし、時代によって適切な文言が変わることもあると思います。事務局で検討していただいて、次の定例会で御提案いただきたいと思います。よろしく申し上げます。

6番目の協議につきましては、以上とさせていただきます。

7番目のその他について、御提案がありましたらお願いします。

渡辺生涯学習課長兼市民会館長兼中央公民館長

本日お配りしております「岩沼市生涯学習基本構想、及び第四次生涯学習推進計画（案）」と「第四次岩沼市子ども読書活動推進計画（案）」について、簡単に御説明させていただきます。

第三次計画策定から5年が経過し、急激な社会変化の中、生涯学習を取り巻く環境や子どもの読書環境の変化に対応するため、市の現状や課題を踏まえ、基本構想及び第四次計画の策定作業を現在進めております。

それぞれの計画の概要について、A4一枚の資料に、趣旨や考え方、期間、改正ポイントなどをまとめております。定例会のお時間も限られておりますので、計画案をお持ち帰りいただいて、内容を御確認いただき、御意見を生涯学習課へ、EメールまたはFAXでお送りください。

現在、生涯学習基本構想・第四次推進計画（案）は、1月17日から2月16日まで、第四次子ども読書活動推進計画は2月6日から3月7日まで、パブリックコメントによる市民の皆様からの意見等を受ける状況となっております。

教育委員の皆さまの御意見や市民、関係する皆さまの御意見を踏まえて、3月までに各計画を策定してまいりますので、お手数おかけしますが御確認をよろしく申し上げます。

大友教育次長兼市民図書館長事務取扱

現在、市の総合計画の見直しが行われておりまして、そちらとの整合も取りながらの調整となっております。

次回の定例会は、2月8日木曜日、午後1時30分から調整しております。県費職員の異動について、7日に県教委から連絡がある予定ですので、少々早いのですがこの日程でお願いします。

佐藤職務代理者

次回の定例会は、2月8日木曜日、午後1時30分から開催する提案がございましたが、如何でしょうか。

各委員

(了承)

佐藤職務代理者

令和6年第1回岩沼市教育委員会定例会を閉会いたします。ありがとうございました。

(午後3時00分閉会)

この会議録の作成者は、次のとおりである。

学校教育課課長補佐兼教育総務係長 山下 真理子

上記記録の正確なることを認め、ここに署名する。

令和 6 年 3 月 7 日

会議録署名委員

及川 浩幸

会議録署名委員

木村 紀子

